

第16回 地域こども支援団体連絡会 アンケート集計結果

実施日時：令和元年6月21日(金)10:00～12:00

場所：大阪市立社会福祉センター1階第7会議室

回答数：30人 参加者数：48人 回答率： 62.5%

総参加数(スタッフ含む)：53人

設問1 講演内容について

選択肢	1 理解できた	2 やや理解できた	3 どちらでもない	4 あまり理解できなかった	5 全く理解できなかった	無回答	総数
回答数	22	3	0	0	0	5	30
構成比	73.3%	10.0%	0%	0%	0%	16.7%	100%

〔参考になったこと、印象に残ったこと〕

1 理解できた

・わかりやすいパワーポイントで理解しやすかったです。子供の環境はうつりかわりがはげしいことがわかりました。

・9歳の壁。カウンセリングの基本。

・房村さんの話がとても実践的な内容で、よかった。ボランティアスタッフのみんなと共有し、さらに良い活動ができるよう、活用させていただきたいと思います。

・子どもの発達についてや、聴く際の注意点について学ぶことができて良かったです。傾聴のポイントであったりは、子ども以外の世代にも共通することだと思うので生かしていきたいです。グループで、他の方の話を聞くことができ良かったです。

・元気が必要だということ。

・謙虚にリスペクト。難しいけれど、とても大切なことだと思いました。

・映像として思い浮かべてみるということが、理解度のカクニンの1つになるっていうのがすごく活発的でした。困った人でなく困っている人って思えたら、自分の気持ちも安定して人を受け入れられるのかなあと思いました。

・困った子ども(親)ではなく、困っている子ども(親)という認識を持ち、よりそうことが大切

・子どもに寄りそうことの大切さを再度認識させて頂きました。

・他の子ども支援団体の方と情報交換ができて有意義な時間となりました。ありがとうございました。

・すごく良い内容でした。今私たちの食堂にも思春期の子どもさんをもっている母達がたくさん来ています。不登校の子どもも居ます。色々な悩みをかかえて相談も受けるので今日の講習を参考にしてお返ししていきます。

・子どもの発達過程。小学生というひとくくりではなく、低～高までの違いをよく理解できた。

・子どもの心の成長に沿った身体の成長を知った関わりが必要だと理解しました。先生の優しい語り口調と子どもの特性にのっとった具体的な事例のお話を是非、地域の活動者の方にも聞いて頂きたいと思いました。

・今の取組等を不安に思っていたのですが、先生のわかりやすいお話で、自分へのふり返りができました。

・わかりやすい説明でよく理解できました

・実践的な内容で参考になりました。

・1つの物事に対しても受け取り方、感じ方が様々で相手の気持ちに寄りそうアプローチの仕方を改めて考えさせられました。

・子どもに寄り添うことは聴くことから始まると思います。小学生の心の発達や様子がよく理解できました。ありがとうございました。

・非言語コミュニケーションは子どもに伝わりやすいため、無意識で子どもを傷つけたり、不信感を与える可能性があると思った。

・支援者の心の安定も大事であるということ。

2 やや理解できた

- ・子供特有のコミュニケーションの問題についてはあまり知らないのですが、今日のお話の内容は、大人同士のコミュニケーションにおいても、大切なことだなと感じました。
- ・子どもとのトラブルがあった場合、お互いの言い分をゆっくりと聞いてあげる事がいかに大切かという事をあらためて考える事ができました。
- ・ワークがおもしろいと思いました。「困った子は困っている子」よいお話をきけました。これから、もう少しほり下げて学びたいとくみたい問題です。

無回答

- ・「聴く」と「共感」は常に大事にしている事ですが、援助者として聴きすぎない事であったり、上から目線にならない様に気を付けたいと思います。
- ・相槌、相手の言葉を短く繰り返す「わかる」はあまり使わない。相手の言いたいことを質問する。大切なことを伝えたい時は、主語と動詞を付け加える。困った子でなく困っている子。
- ・非言語コミュニケーションの重要さを再認識しました。
- ・“寄り添い”は聞くことから始まり、語りを受け止めることで信頼関係を築ける。子どもだけでなく相談者の方にも寄り添うは大切だと思いました。
- ・臨床心理、こどもと接する、というときに、現存の学校、大人、社会、価値観というものを問い直す視点も同時に必要だと思いますが、「スムーズな発達」というような言葉や説明に違和感を持ちました。

設問2 今後の「地域こども支援団体連絡会」に期待すること、取り上げてほしいテーマがあればお書きください。

- ・広報、チラシの作り方、情報発信について知りたいです。
- ・ママって何？パパって何？ある日、親になることについて
- ・民間企業への期待、要望。
- ・NPO法人におけるこども食堂運営(金銭面)
- ・今日の様な勉強会がいいです
- ・子どもの流行、興味
- ・「子どもの居場所づくり」の団体同士のつながりをつくっての良かった事など、団体さんにおはなし頂けるよき会があれば聞きたいです。
- ・運営資金について
- ・団体の活動が盛りあがっていくために必要なインフラ(仕組み、組織、工夫など)は何なのか、について。
- ・地域でのかかわり方
- ・事件の多い中で、地域で子供を守っていく為に各地域でどの様な活動をされているのか知りたいです。
- ・「こどもとの接し方」について「第3の居場所」としての、ならではの、という内容を希望していたのですが、そういった内容ではなかったのが残念でした。

設問3 その他、ご意見・ご感想など、ご自由にお書きください。

- ・とても具体的で解かりやすかった。
- ・「みんなの学校」上映会→校則なしで不登校ゼロを実現したドキュメンタリー映画
- ・子ども食堂の為にNPOを立ち上げて1期無事に終えたのですが、子ども食堂が飲食業にあたり、市府民税+αを納付しないといけないのが金銭面でかなり苦しい状態です。
- ・毎回、どんな方、立場の方が来られているか知りたい。個人的にコンタクトをとり、見学に行ったりもしてみたい。
- ・たくさんの参加者でおどろきました。
- ・ありがとうございました。
- ・こども支援等にかかる情報提供があるのはありがたいです。
- ・ゆったりとした口調で、考えながら聞かせてもらいました。ありがとうございます。
- ・様々な学びがありました。またよろしくお願いいたします。
- ・本日は、とても勉強になりました。何を言いたいのかをちゃんと聴いて、理解できる様になりたいです。
- ・こどもに寄り添うについてとても詳しくお話していただき、沢山のことを学ばせていただきました。今後、子ども達と関わる時に参考にさせていただき実行していきたいと思います。
- ・最後にワークをさせていただいて、他者視た自分を知り、理由もあらたな自分を知ることになりました。一緒にワークをさせていただいた方々の、感じ方も興味深かったです。